

一般飲食店における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	店内2Fの更衣室にて、退社しようとしたとき、床で足を滑らせ転倒し、転倒した際に右手首を捻挫した。	43～29	10
1	1～2	バックルーム清掃作業中に、急いで煮肉をしなければいけなくなり、牛肉をとるために冷蔵庫に入り、出て来たときに下水に左足がはまって強打し、その後立てなくなり、左足首、左足甲が腫れ上がって出血し、動けなくなった。	41～29	10
1	9～10	店舗出入り口（右側）にて開店前の清掃準備中、木製スロープが凍結していることに気付かずに足を踏み込んでしまい、足を滑らせ右足首を負傷した。	74～49	30
1	16～17	事務所裏手の倉庫に書類（ファイル）を片付けに行く途中、側溝と通路の段差（約2cm）に足を踏み外して左足首を脱臼し、右ヒザから転倒して膝蓋骨骨折を負った。	40	—
2	19～20	調理場の段差のある場所で棚の上にある容器を取ろうとした際に、下が濡れていて滑ってしまい段差から落ちてしまい骨折した。	34～29	10
2	12～13	店内ホールで、オーダーを厨房へ通しに戻っている時に、小走りで段差を勢いよく左足で着地した時に左ひざに痛みがはした。	54	—
2	22～23	店舗の片付け作業をしている時に、コンセントのコードに足が引っ掛かって体勢を崩した。その際右足を床についたため当該部位を負傷したものである。	25	1～9
		直営店において、店舗の入っている事務所に両替に行った際に急いでおり、事務所		1～

3	13~14	の扉で右手親指をはさんだ。	20	9
3	9~10	荷物を持ったまま、従業員の厨房入り口に向かう時、お客様が立ち入らない様にロープがしてある所をロープを取らず跨いだ際、足がロープに引っ掛かり転倒して、左膝を打撲した。	37	10 ~ 29
4	21~ 22	倉庫の片付中、ビールの入ったケースを店内に運び込むため、両手が塞がったまま店舗裏口にある鉄製の重い扉を開けたところ、力が足りなかったため扉が戻ってきてしまった。慌てて運び入れようと無理な体勢を取った際に、左半身が扉と裏口の間で挟まり負傷した。	49	1~ 9
4	10~ 11	当店店内にて、被災者は収納庫からうどんのだしの材料を取り出し厨房へ運ぼうとしていた。収納庫前の床がフロア掃除を行った直後で濡れていたため、被災者は足を滑らせ転倒し、右肘を床に打ちつけた。	55	10 ~ 29
5	11~ 12	大きい寸動鍋でソース作りをしている時、鍋を持って急ぎ足で厨房内を移動したため、下水を流す排水溝の蓋を踏んで蓋がずれて外れ、排水溝に左足が落ちた。	37	10 ~ 29
5	13~ 14	事業所内の窓拭きをしている際、網戸が外れてしまい、網戸を拾おうと、窓外（約40cm）に飛び降りたところ、右膝に痛みがはしった。	47	1~ 9
5	15~ 16	入口脇付近において、オープンテラス席の設営中、近くに装飾してあった地引網に木製扉が引っ掛かってしまい、それを外そうとしたはずみで右手の甲を扉に強打し骨折した。	28	1~ 9
5	14~ 15	営業時間終了後、制服を着替えるため更衣室に入室しようとした際、靴を脱ぐためドア枠に手をつけて体を支えたところ、前の方が入室したすぐ後だったため、ドアが1/3程開いた状態で、ドアの蝶番側とドア枠の間に隙間があいており、体を支えるためについた手の薬指がその隙間に入っていたため、ドアが閉まる際に薬指を挟んでしまった。	63	50 ~ 99
5	13~ 14	事業場である食堂にて、厨房内での作業を終え、ホール側での作業に移るため厨房を出ようとした時、出入口の段差上部の補強部分とホース配管との間に足の先が挟まって転倒し、右足小指付根付近を骨折した。	59	1~ 9

5	10～ 11	店舗駐車場にて、ゴミ拾いをしている時、車止め（縁石ブロック）で足を躓き転倒し、左手小指骨折、左手打撲をした。	53	30 ～ 49
5	20～ 21	店内ホール通路を移動中、ズボンの裾がホールの壁が剥がれている部分に引っかかり転倒した。	36	10 ～ 29
5	22～ 23	店舗内において、店舗入り口の扉の建て付けが悪い為、開閉を何度か繰り返していたところ、引違いの扉枚が同時にレールから外れ、倒れてきた扉が足に倒れかかり怪我をした。	25	10 ～ 29
5	11～ 12	店舗改装中、天井裏にて配線を確認中に天井が抜け落ち、下に落下し着地したときに背骨を圧迫し、負傷した。	31	10 ～ 29
6	14～ 15	カウンター内にて、パンの引き出しが開いている事に気付かず、右足を引き出しの下に引っかけてしまい、誤って足の甲を打ってしまった。すぐに治ると思ったが痣と痛みがあり、右足甲を骨折をしていた。	0	10 ～ 29
6	17～ 18	店舗バックヤードにて、誤って床で滑ってしまい、左足首の靭帯を損傷した。	20	100 ～ 299
6	10～ 11	厨房へ通用口（大きな段差と重量のある鋼製片開き戸のドアがある）において、戸外に保管してある卵ケース（10kg）を厨房内に搬入しようとして、片手でケースを抱え、もう片手でドアを開けて自閉するまでに通過しようとしたところ、ドアが閉まるまでに段差を越えて内部に入れず、足を挟まれて左足の薬指を骨折した。	67	10 ～ 29
6	13～ 14	店舗裏にあるプレハブ冷凍庫に食材を取りに行き、出ようとした際に扉の裏の非常用の赤色の取っ手に胸部を強く打ち、負傷した。	65	30 ～ 49
7	13～14	清掃するために洗い場の通路のフタを開けていたところ、本人が気づかず片足がはまって体を打ったもの。その後職場復帰した。	63	1～ 9

7	19～ 20	厨房で収納棚を支えているブロックに下をよく見ていなかった為右足がつまずき左膝を強く打った。	69	1～ 9
7	19～ 20	店内で接客および料理の提供中、客をよけるために座敷から段差をおりた際、不注意で右足を挫いてしまい、右足小指辺りを骨折した。	59	10 ～ 29
7	4～5	更衣室から物を取り振り返って出たところ、グリストラップの溝に左足がはまり転倒した。グリストラップには、2枚の蓋がされており、1枚は引戸で仕切られて更衣室の床の一部となっているが、他の従業員が清掃の為に更衣室の外側のもう1枚の蓋を外して、その場を離れた。しかし、その際に声かけをしなかったため、室内の当人は気づかず、蓋があると思って踏み込んでしまった。	53	1～ 9
7	10～ 11	店舗バックヤードにて、グリストラップの清掃中、足を滑らせ転倒し、グリストラップの仕切り部分で、左足・左腕・尾?骨に打撲を負う。	31	10 ～ 29
9	20～ 21	帰宅のため当社休憩所の階段を下りている際、頭上にある鉄製の梁に頭部をぶつけたため、その拍子で階段を踏み外し、床から約1メートルの高さから落下して頭部を負傷した。	15	10 ～ 29
9	9～ 10	店でテラスの壁を取り壊そうとして勢いを付け倒そうとして、壁が勢いよく倒れてしまい、そのまま小指と薬指が壁に押しつぶされて、怪我をした。	19	10 ～ 29
9	14～ 15	昼過ぎに肉を持ち上げるときに右手の甲が柱の角に当たり違和感があったが、そのまま仕事を続け、再度同じ箇所をぶつけたときに、ひどい痛みがあり、右手が動かせなかった。	37	50 ～ 99
9	22～ 23	閉店作業で座敷を掃除し、座布団を整えようとして、座敷に左手人差し指を打ち付けてしまった。日がたてば治ると思いそのままにしていたが痛みが引かず物がつかめなため病院へ、靭帯を痛めていた。	38	10 ～ 29
9	14～ 15	当社食堂のプレハブ冷蔵庫から荷物（ダンボールに入った冷凍マグロ3kg）を持って、冷蔵庫の中から庫外へ出る際、急いでいたこともあり誤ってフリーザー密閉ハ	35	10 ～

		ンドルの受部に右脇腹部分をぶつけてしまい、骨折したものである。		29
9	11~ 12	駐車場において、駐車場の開放のためロープと重りを脇に寄せようとしたところ、溝があり、跨ごうとして誤って右足が落ち、右足に全体重をかけた状態になり負傷した。	41	30 ~ 49
9	7~8	店にて、ドリンクバーの氷を補充した後、オープン前で急いでいた為に周りをよく確認しなかったため、ドリンクバー横にある仕切りに右手を強く打ちつけ、右手小指を負傷した、右手小指が腫れ、痛みが治まらなかったため、勤務終了後に病院へ行ったものである。	55	10 ~ 29
9	15~ 16	厨房内中央の排水溝のふたを清掃のため開けている時、冷蔵庫に保冷剤を片付けるため通った、本人はふたが開いていることは知って注意をしていたが、足が滑り、右足首が入り、しりもちをつく形になり右足を捻挫、右ひじを打撲した。	40	10 ~ 29
10	19~ 20	出勤時、店舗の駐車場にて自転車から降りた際、路面の窪みに足をとられ、バランスを崩し右足を痛めた。大丈夫と思い様子を見たが、腫れ痛みがあり受診。右足首骨折と診断を受けた。	54	30 ~ 49
10	9~ 10	厨房内にて、昼食準備中、チャンパー（冷蔵庫）に入ろうとしたところ、扉が右膝に当たりバランスを崩して転倒し受傷した。	60	10 ~ 29
10	19~ 20	工場内小分け室でスープ用の袋を作成し片付けをしている時に、両手に荷物を持ち移動していると清掃中で床が濡れていたために、足を滑らせ転倒し、左手が地面にあたり骨折してしまった。	43	10 ~ 29
10	13~ 14	ホール内において、配膳時に通路を通る際、他従業員とぶつからないように避けようとしたところ、持っていたお膳がパーティション（木製）に接触してしまった。その反動で右わき腹にお膳が激突し、右肋骨にひびが入った。	52	30 ~ 49
10	23~ 24	就業場所である店舗内（2階）で、お客様のお帰りを見送る際、急いで走った勢いで柱の角に右足を強くぶつけてしまい、右足小指を負傷した。	50	10 ~ 29
	9~	店内資材館売り場で、フォークリフトから3.4m材を売場に品出しの際、3m材を売		30

11	10	場に入れるため、束材を担ぎ上げた際、左肩の筋を損傷してしまった。	55	～ 49
11	23～ 24	被災者は飲食店の厨房で換気扇の清掃作業を行っていた。作業を行うため脚立から足場となる調理台（高さ約80cm）に移動する際、調理台の端から足を滑らせ落下し、調理台で右肩・右胸を強打した。作業時、調理台をビニールで覆っており、洗浄用の洗剤や油がビニールに付着していたため、足元が滑り易くなっていた。	40	1～ 9
12	9～10	店舗内調理場において作業中、排水溝のグレーチングを踏んだ際、グレーチングが外れ落ち、左足、左胸を強打した。	57	30 ～ 49
12	19～20	開店直後で少し立て込んで来たので、手洗場から急いでホールに戻ろうとした時、バランスがくずれて右側の壁に右足を強くぶつけ、右足小指に強い痛みが出た。氷で冷やしていたが治まらない為に病院へ行った。	19	10 ～ 29
12	14～15	年末の大掃除で窓拭きをしていた際、2Fに行く階段の踊り場の高さ1mにある窓を拭こうと、踏み台を使って窓の15cm幅の棧に両足を置いた。左手で窓枠をつかみ、右手で窓を拭きながら横に移動しようとしたところ、足を滑らせ身体のバランスを崩し、踊り場に左足から着地し、負傷した。	46	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html